

JERRコンクリート補改修協会

自立更生工法で審査証明

適材適所の工法選定可

下水処理施設(処理場り、膨大な施設がストッ

クされるときも、老朽

JERRコンクリート補

造物の腐食環境条件や供

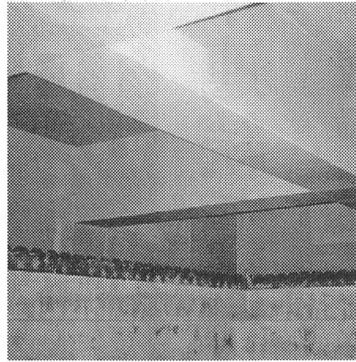
取得している。

また、下水道自立マン

・ポンプ場・管渠・人孔等)のコンクリート施設では、硫化水素に起因して生成される硫酸による腐食劣化が生じることは周知のとおりである。下水道は高普及率時代である

り、膨大な施設がストックされるときも、老朽化が進むため、今後、これらの施設を維持管理し長寿命化を図るためには、計画的に体系的な補改修対策を行うことが重要となつて

いる。JERRコンクリート補改修協会は塗布型ライニング、シートライニング、モルタルライニング、工法など各種の材質による様々なコンクリート防食被覆工法を協会認定工



コンクリート劣化状況(上)と補修・改修・防食完了後

2016年6月にJERRコンクリート補改修協会内に管路部会が発足し、管路施設(マンホール・管渠等)の改築・更生

各種防食工法は、「下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル」で分類している各種腐食環境に対する適合性を有し、全国各地の下水処理水槽・マンホール・管渠等で多数の施工実績を有している。

法としてラインアップしている(図・1)。この他にも協会認定製品としても劣化部除去後の断面修復材料として、超微粒子高炉スラグ系耐硫酸モルタル「ZモルタルAR」などもラインアップしている。

・防食・修繕等に係わる優れた技術・工法の普及を推進している。下水道用マンホール更生工法および防食工法・シートライニング工法として、ジックボードM工法の建設技術審査証明(下水道技術)第2124号を取得している。

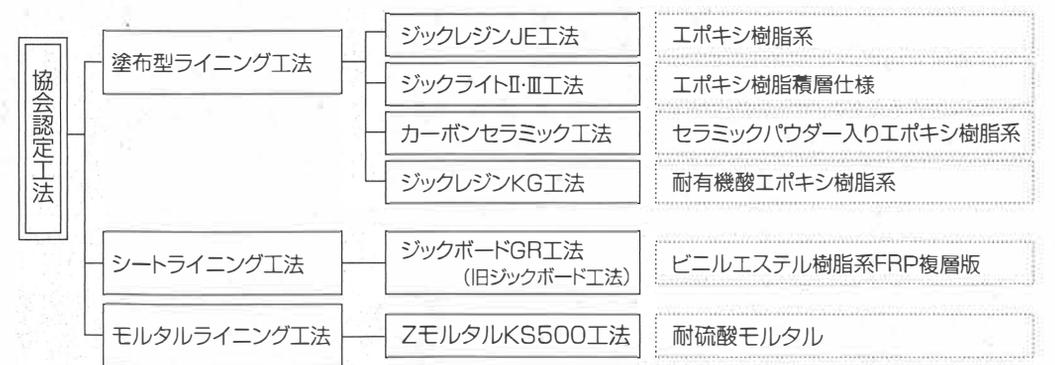


図-1 協会認定工法のラインアップ